

The **49**th

Annual Meeting of Japanese Society of Transactional Analysis

日本交流分析学会

第**49**回 学術大会

臨床の場で交流分析をどのように活用するか

大会長 室城隆之

会期 2024年4月27日(土)~28日(日)

会場 江戸川大学(千葉県流山市駒木474)

開催形式 対面式(オンラインでの配信はありません)

大会長挨拶 江戸川大学 室城隆之

このたび、日本交流分析学会第49回学術大会の大会長をお引き受けすることになりました、江戸川大学の室城です。第49回学術大会は、2024年4月27日(土)~28日(日)に、江戸川大学で、対面式で実施いたします。テーマは「臨床の場で交流分析をどのように活用するか(仮)」とし、基調講演者にはオンラインではありませんが、エリックバーン記念賞を3回受賞されているリチャード・アースキン博士をお招きしました。エリックバーンの交流分析から今日の交流分析までの発展の流れについてお話いただく予定です。また、2日目には大正大学の門本泉博士による関係性交流分析、大会長による統合的心理療法のワークショップも予定しています。貴重な学びの機会になると思いますので、ぜひご参加ください。

会場の江戸川大学は、千葉県流山市に位置しています。つくばエクスプレスおよび東武アーバンパークラインの流山おおたかの森駅までは秋葉原から快速で28分で、そこからスクールバスが運行されています。また、東武アーバンパークラインの豊四季駅からは徒歩で、JR常磐線、東武アーバンパークラインの柏駅からはバスでも来場できます。流山おおたかの森駅や近隣の柏の葉キャンパス駅、柏駅の周辺には多くのホテルがございますが、ゴールデンウィークの始まりの時期ですので、ホテルや交通のご予約は早めにしていただくことをお勧めいたします。

スケジュール(予定)

4月27日(土)

基調講演

午前

リチャード・アースキン博士(オンライン)
「交流分析の原点から新しい理論まで」(仮題)

研究発表

午後

大会長講演
「臨床の場で交流分析の理論をどのように活用するか」

4月28日(日)

ワークショップ1

午前

関係性交流分析 門本泉博士(大正大学)

ワークショップ2

午後

統合的心理療法 室城隆之博士(江戸川大学)

申し込み等の詳細については大会ホームページでお伝えします。

日本交流分析学会 第49回学術大会 事務局

mail : jsta49th.info@gmail.com

HP : <https://jsta49th.com>

